

ふれあい

市青少年育成市民会議 ☎42-3511

静寂の中 力強い和太鼓の音が胸を打った ～2022成人式～

1月9日穏やかな晴天に恵まれる中、成人式を開催しました。昨年に引き続きコロナ禍のため二部制とし、第一部を新川中、中央中、西端中、第二部を南中、東中出身の成人で行いました。昨年同様、入場前の検温や問診、マスク着用などコロナ対策も万全にして臨みました。大きな声を出さないよう呼び掛けるところ、規律と緊張の中、成人式が粛々と行われました。

毎年、いろいろなことに挑戦する成人式実行委員。今年は、和太鼓に挑戦しました。指導にあたってくださった先生がこの成人式のために作った曲を演奏しました。新成人の醸し出す静寂の中、力強い和太鼓、篠笛の演奏、傘や光玉による素敵な舞を披露しました。碧南市の成人式にまた新たな歴史を刻む素晴らしい挑戦でした。



翔碧

～晴れ渡る未来へおもいを永遠に～

成人式実行委員

森山 凜

今年もコロナ禍でいろいろ心配される中、多くの方々のご協力のもと、無事成人式を終えることができましたことを、深く感謝申し上げます。

今年の成人式のテーマは「翔碧～晴れ渡る未来へおもいを永遠に～」。コロナ禍の暗い世の中で、明るい未来を願い未来へ翔び立ち挑戦していきたい、それぞれが翔び立つ中でも「碧南」という帰る場所があることを忘れないでほしい。そんな想いをこのテーマに込めました。

私たち成人式実行委員会は、碧南市内中学校から集まった15人でこの式典の企画準備をしました。

当初は同じ出身中学校同士でかたまり、関係が築けず話し合いが進まなかったこともあり。その中で、真剣に意見を交わし合い、支え合い、市の担当の方の協力を得ながら、一つずつ困難を乗り越えていきました。

私たちは、未来へ向かっていく挑戦として、今までの成人式で行ったことのない「和太鼓」に挑戦することにしました。

演奏した曲は「HEKIREKI」。指導してくだ

さった先生が、この成人式のために作曲してくださいました。曲の構成の中には、太鼓の他に、篠笛、扇子、傘、光玉もありました。実行委員全員、どれをとっても初めて挑戦するものです。

約3か月間、学校や仕事に忙しい中、皆で集まり練習を積み重ねました。時間が合わなかった時には、文化会館での練習後に公園や倉庫に移動し、夜遅くまで練習することもありました。

本番では、心地よい緊張の中、練習で培った自信を胸に、一人ひとりが思い切って演奏しました。一生懸命披露したことで、会場にいる人が真剣に演奏を聴いてくれました。

式を終えて、参加してくれた同級生や来賓の方々から「感動した」「すごかったよ」「かっよかったよ」とたくさんの言葉をいただきました。3か月間、実行委員みんなで頑張ってきてよかったと思います。また、この挑戦を通して私自身ずいぶん成長できたなと感じます。成人式ができる環境をつくってくださった様々な方々に感謝します。

新成人の中には、碧南からいつかは出て遠くへ行く人もいます。私たちには碧南という帰る場所があります。失敗を恐れずに前に突き進み、自分からたくさん挑戦してほしいです。

周りの人に感謝をし、新成人一同、自分の歩幅で歩いていきたいと思っています。



第18回 「親子キャッチ575」 最優秀作品と表彰式

青少年育成市民会議

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校からたくさん応募をいただき、3,461点の作品が集まりました。そして、表彰式を令和3年11月3日(水)に碧南市文化会館で行い、最優秀作品、優秀作品の合計30点を表彰しました。

今年は、例年の作品テーマに「東京オリンピック」を加えました。昨年から継続するコロナ禍の中、選手の活躍に勇気と力を感じ取った作品がたくさん寄せられ、今年ならではの作品が集まりました。感心したり、感動したり、それぞれの思いが込められ、温かい家族の様子が伝わってくる作品がたくさんありました。



第18回 親子キャッチ575 最優秀作品

かがとむし

みつのところに あつまるよ

新川小学校一年 奥谷宗一郎

僕たちは
密なところに 気をつけよう

父

胸光る

金メダル見て やる気出る

日進小学校六年 杉浦 有咲

勉強の
やる気に火がつきゃ せいかだい

母

学校の

プールのじゅぎょう つくへの

中央小学校二年 井野ひかり

来年は
笑顔のしびき 見れるかな

母

オリンピック

父は我が家の 解説者

西端中学校一年 外崎 真帆

試合中
質問せめの むすめたち

父

ちがう国

なのに手をかし たすけ合う

榊尾小学校三年 永井 望央

気づけたね
勝負の他の ポイントも

母

思春期が

作る母との ディスタンス

新川中学校二年 木村 遙仁

聞く目を
持ため思春期 すべイヤホン

母

走りたい

リレーの選手に なれたから

榊尾小学校四年 小崎 脩司

運動会
子どもにとっての オリンピック

母

あの頃の

日常はやく もぎってこい

新川中学校三年 板倉 怜尉

数年後
苦しい思い 糧になる

父

かくとうぎ

おんなのこたち つよかった

日進小学校五年 森脇秀太郎

わがやでも
ははあねいっしょ しょうねん…

父

コロナ禍で

命を守り 部屋籠る

碧南工科高校一年 小松 和樹

目をおおっ
部屋の惨状 そっじしな

母

おやじの会

おやじの会の活動のねらいは、「父親同士の交流を図って連帯感を高めること」「子育てを母親任せにしないで、父親も家庭教育に関心をもつこと」「子どもの理解を深め、子どもからの信頼を得ること」です。そして、それぞれ親子参加型のイベントを工夫し実践することで、地域ぐるみでの子育て、親育ての一助を担っています。

今年も、コロナ禍のため、予定していたイベントが思うようにできませんでした。その中で、屋外活動を工夫し、子ども会や青少年育成推進委員会と協力し合って活動を展開しました。また、成人式にも場内警備や誘導の係として、新成人の新たな旅立ちの手助けをしました。

棚尾 とうもろこし狩り

6月20日(日) 川口町内でとうもろこし狩りを行いました。棚尾小児童、保護者、おやじの会スタッフを含め、参加者120名の行事でした。

曇り空で風もあり、気持ちの良い日でした。

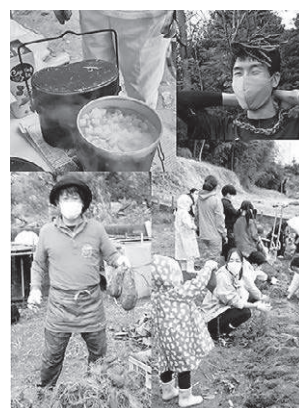
新型コロナウイルス対策のために時間帯を3部に分け、収穫エリアもグループごとに分けて行いました。



西端 芋ほり体験

10月31日(日) 今年も芋ほり会を行いました。5月に苗をメンバーで植え、水やり、草取りと大切に育てた芋です。

その甲斐あってたくさん収穫できました。焼き芋、芋ご飯、リース作りと余すことなく楽しみました。



日進 日進ウインターまつり

みらいの会さんのお手伝いでスタッフ参加しました。

お祭りに地域の沢山のお店（キッチンカー）が参加して、たこ焼き、焼きそば、ケーキ、串カツや弁当など大盛況でとても楽しく活動出来ました。



新川 ドッジボール練習

碧南市夏のドッジボール大会に向けて地区練習会のお手伝いをしました。子どもたちが元気いっぱいボールに向かう姿に触れ、私たちまで元気が出てきました。そして、新川地区から優勝チームが出たことは何よりうれしいことでした。



子どものためのスマホ安全利用に向けての勉強会 ～1月22日～

青少年育成市民会議、青少年育成推進員連絡会、小中学校幼稚園PTA連絡協議会、おやじの会 共催

スマホ所持の低年齢化が進んでいます。その中で、SNS等子どもたちを取り巻くネット環境も随分危険なものとなっており、子どもが安心安全にスマホを利用できるよう保護者の見守る目が大切になってきます。そこで、上記4団体共催で勉強会を開催し、危険性を学ぶとともに、スマホ機能を活用したペアレンタルコントロールの方法についても学習しました。これを受け、学校を通して保護者に啓発チラシを配布しました。



ふれあい活動の楽しみ

おやじの会連絡会会長 長谷川 哲 巳

大人の背中を見て子どもは育つ。この言葉にいつも思うことがあります。

大人も子どもたちとふれあうことで育むことができます。

ボランティアとして参加している中学生に自分も背中を見せなくてはと、あれこれ考え、率先して行動していました。そこに、先生からは怒られてばかりのやんちゃな男子生徒がいました。その彼に、一緒にいた私の母がこう言いました。

「足が悪くて車いすに乗っている子は、あなたと同じで自由に歩きたいのよ。だからあなたができる範囲でいいから、車いすの移動を手伝ってあげてね。」と。

すると、やんちゃな彼は、階段や段差になるとサツと近づいて車いすを持ちあげてくれました。母の言葉が中学生の心に染み入って行動に移せたのかと思うと、自分も育てられた思いになりました。自分が何かをすることで、関わった人の次の行動に結びついていくことが、ふれあい活動の楽しみと感じています。



子どもは社会を映す鏡、子は親を映す鏡

碧南高校PTA会長 亀井 真澄

世の中にはたくさんのルールや決まり事があります。家庭、学校、社会、交通、社会道徳。

なぜ世の中にはいろんなルールや決まり事があるのでしょうか？守るべき事柄や行動ができない人が少なからずおり、人間関係を円滑にする術が必要だからだと思います。

「子どもは社会を映す鏡、子は親を映す鏡」という言葉があります。

子どもたちは大人の立ち居振る舞いや言動を見て学習し、観察し行動します。

子どもは家庭や学校、実社会でたくさんの大人と関わることで学び、心身ともに育まれます。その過程で子どもなりに取捨選択しながら大人へと成長していきます。そして、次世代へと受け継がれていくことで健全な社会が持続されていくと考えると、私たち大人の行動が問われているのではないのでしょうか。

私たち大人は、日頃から私たちの行動、言動を子どもたちが観察していることに気を配り、自分を律し続けられるように「子どもは社会を映す鏡、子は親を映す鏡」この言葉を心に留め置きたいものです。

大谷選手から学ぶこと

青少年育成市民会議会長 磯貝 昌 宏

2021年、メジャーリーグで大谷翔平選手が大活躍されました。「リアル二刀流」での活躍は皆さんご存知の通りですが、大谷選手が注目されたのはそれ以外にもありました。

ボールボーイや審判への気遣い、折れたバットやごみを拾う紳士の行為、ファンサービスなどの行動がメディアにも取り上げられ、多くの人から称賛されました。

そんな大谷選手が高校時代に書いた目標達成シート(マンダラチャート)があります。

目標を達成するためにはどうするかを8個あげ、さらにその8個を達成するためにはどうするかを書いたものです。

大谷翔平選手が書いた目標は「ドラ1 8球団」でした。

「ドラ1 8球団」を達成するためにあげたのは、「体づくり」「コントロール」「キレ」「メンタル」「スピード160km/h」「人間性」「運」「変化球」でした。

この8個の中の「運」を達成するために、「あいさ

つ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「道具を大切に使う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援させる人間になる」「本を読む」をあげています。これらは私たちが日常生活の中でできるいわば当たり前のことです。

ずっと以前の高校時代から意識して行っていたことを、世界の舞台でも当たり前のようにできる。そんな大谷選手をみて、当たり前のことを当たり前に行えることの大切さを感じます。

まずは気持ちの良い「あいさつ」から、私たちができるように心がければ、子どもたちも見ていてくれるはずですよ。

体のケア	サブリメント を飲む	FSQ 19kg	インステップ 靴着	体幹強化	痛を ぶらさない	角質を つける	上から ボールを たたく	リストの 強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリース ポイントの 設定	コントロール	不安を なくす	力まない	キレ	下半身 を鍛
スタミナ	可動域	選手 3kg	下腿の 強化	怪を 減らす	メンタル コントロール をする	ボールを 肩で リリース	肩甲骨 アップ	可動域
はっきりと した目標、 目的を持つ	一言一差 しない	球は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	袖でまわる	下腿の強化	体幹を鍛
ピンチに 強い	メンタル	練習時に 遅れない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩甲骨の 強化
涙を つらくない	審判への 敬意	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチング を短くす
感性	笑われる 人間	プラス	あいさつ	ゴミ拾い	体幹そうじ	カウント ボールを 増やす	フォロー アップ	スライダ のキレ
思いやり	人間性	感謝	涙を 大切に乾かす	運	練習さん への敬意	遅く落着 めのある カーブ	変化球	五打者 への決め球
礼儀	感謝 される人間	継続力	プラス思考	応援される 人間になる	夢を語り	ストレートと 同じフォーム で投げ	ストレート やカーブに 同じフォーム コントロール	肩甲骨を イメージ